

苫 総 福 第 3 5 1 号  
令和 5 年 4 月 2 8 日

内閣総理大臣 殿

苫小牧市長 岩倉 博文

苫小牧市アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

アイヌ政策推進交付金事業実施要綱（令和元年 9 月 6 日付け府ア推第 5 号）第 3 条第 3 項に基づき、アイヌ施策推進地域計画の中間評価結果について別紙のとおり報告します。

アイヌ施策推進地域計画 中間目標評価報告書

実施主体名	計画の名称	(中間) 目標年度
北海道苫小牧市	苫小牧市アイヌ施策推進地域計画	令和4年度

1. 目標の達成状況

アイヌ施策推進地域計画における中間目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
①講習会参加者数	162 人	118 人	73%	
②美術博物館来館者数	36,300 人	35,173 人	97%	
③生活館利用者数	2,450 人	1,551 人	63%	

アイヌ施策推進地域計画における中間目標	達成状況	備考
①講習会参加者数	目標を下回った	
②美術博物館来館者数	目標をやや下回った	
③生活館利用者数	目標を下回った	

(コメント)
① 新型コロナウイルス感染症の影響から、規模の縮小や中止をしたものもあり目標値を下回ったが、各講習会とも定員以上の申込があり、市民の関心度の高さを実感した。
② 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には届かなかったものの、ほぼ数値を達成している。来館者から「アイヌ文化についてより深く理解できた」との声もあり、今後も来館者増に努める。
③ 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には届かなかったものの、整備後の生活館に対し、利用者から「使いやすくなった」との声もいただいております、引き続き適正管理に努め、来館者増に努める。

2. (中間) 目標達成のために実施した各事業の進捗状況と効果

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>①アイヌ文化伝承事業として、各種アイヌ関連講習会を実施し、より多くの市民にアイヌ文化に触れる機会を創出している。各講習会とも定員以上の申込があり、市民の認知度向上や、関心の高まりを感じるが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現状は目標値を下回っている。</p>	<p>苫小牧市</p>
<p>事業の効果</p>	
<p>刺しゅう、伝統工芸、木彫など、アイヌ民族による手仕事を中心に講習会を実施したほか、完成品を市内各所で展示することにより、講習会参加者はもちろんのこと、より多くの市民の方にアイヌ文化に触れる機会を創出している。</p>	

事業の進捗状況	事業実施主体
<p>②-1 美術博物館常設展示室「アイヌの暮らし」更新            苫小牧市美術博物館「アイヌの暮らし」展示室において、ユーカラ音声装置を刷新し、画像機器を導入したほか、カラーコルトン(透過式カラー写真フィルム)をより鮮明な画像と入れ替えた(R2)。現在のカラーコルトン(透過式カラー写真フィルム)使用の「蝦夷風俗十二ヵ月屏風」をタッチパネル式デジタル仕様に変更するとともに、「蝦夷島奇観」など新たな画像メニューを組み込んだ(R3)。北海道指定有形文化財に指定されている「アイヌの丸木舟と推進具」を紹介するコーナーで現在展示している映像展示機器をボタン操作からタッチパネル式デジタル仕様に変更し、現在映しているプログラムについて調整を行った(R4)。</p> <p>②-2 歴史講座            企画展にあわせて「発掘調査からわかるアイヌ文化」として、平取町講師を招き、遺跡の発掘調査からわかるアイヌ文化について講演を行った。また、「ガラス玉がかたるもの～丸い小さな世界から～」として、札幌国際大学から講師を招き、北海道におけるガラス玉について由来や形状、色の変化について講演を行った(R2)。</p> <p>昨年度に引き続き「発掘調査からわかるアイヌ文化」として、伊達市から講師を招き、遺跡の発掘調査からわかるアイヌ文化について講演を行った(R3)。また、平取町民芸組合から講師を招き、「アットウシ織りの世界」としてアットウシ織りの手法を実演とあわせて講演を行った(R3)。</p> <p>企画展にあわせて「アイヌ民族の刀帯 その変化と復興の歩み」として、北海道博物館から講師を招き、講演を行った。また、「私が聞いたアイヌの物語」として、北海道博物館から講師を招き、講演を行った(R4)。</p>	<p>苫小牧市</p>

事業の効果
アイヌ文化を紹介する展示を更新することにより、視覚的にも聴覚的にも来館者がアイヌ文化の多様性を知る事が可能となった。また、実施した講演会は、受講者が最新の知見や各地のアイヌ文化の多様性に触れることで、アイヌの歴史や文化の正しい理解に有効であったと考える。

事業の進捗状況	事業実施主体
③アイヌ文化活動拠点である生活館の整備事業として、苫小牧市生活館の全館LED化及びトイレの洋式化を実施(令和2年度及び3年度)し、利便性の向上を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数は目標値を下回っている。	苫小牧市
事業の効果	
全館LED化により、講習会や、和室を使用した手仕事の際も「手元が見やすくなった」という声があるほか、トイレの洋式化についても「トイレを安心して利用しやすくなった」と好評の声が挙がっている。	

### 3. 今後の方針等

(コメント)
①新型コロナウイルス感染症の影響から、規模縮小などにより実施してきたものの、各講習会とも定員を超える応募があり、今後は感染状況等を注視しながら、参加募集人数を増やすなど、目標値の達成に向けて事業を実施していく。
②常設展示の内容更新、イベントや講座を実施するなどして、地域に存するアイヌ文化を発信し、アイヌ民族の歴史や文化に対する市民の理解を深めるとともに、内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、アイヌの人々が誇りを持って生活し、その誇りが尊重される地域社会の実現に努めていきたい。
③令和3年度までで施設整備は一旦終了した。今後も適正管理に努めながら、アイヌ民族の方々と地域住民の交流の場として活用されるよう、取り組みを進めていく。